

東日本大震災に関する報告（平成23年6月13日現在）

平成23年5月10日以降

1 東京電力の計画停電

東京電力による供給力の追加と、利用者の節電によって「原則不実施」を継続する方針である。需要が高まり十分な供給が困難になった場合のみ、計画停電が実施される可能性がある。

需給ひっ迫が見込まれる場合は、前日の夕方に需給状況が、当日開始時刻の2時間前までに計画停電実施の有無がプレスリリースされる。実施される場合は、現行の「日替わり停電制」（停電時間帯が毎日変わる）が継続されるが、1グループ1日1回のみ2時間程度（時間帯は9：30～20：00）で、早朝深夜は行われない。

今後の町の対応としては、継続的に節電を呼びかけるとともに、計画停電実施について、メール配信、防災無線及びホームページ等での広報や、災害時要援護者に対する情報提供に努める。

2 町内への避難者に対する支援等

町内への避難者に関する情報

原子力発電所事故に伴う避難者	6世帯 15名
地震・津波による避難者	4世帯 10名
計	10世帯 25名
上記のうち瑞穂町への住民登録	3世帯 10名

（6月8日現在）

支援等の内容

避難所の開設 武蔵野防災会館 入所者なし

避難者への個別相談 家族構成、縁故者の支援状況等を確認しながら、高齢者、乳幼児の健康管理等を関係部課で対応している。

4月27日から「全国避難者情報システム」の運用が開始された。全国共通書式により東京都を經由して、被災地自治体に町内への避難者の情報を提供している。

5月30日までに、本人の意思確認が取れた8世帯21名の情報を提供済み。1世帯は家族が被災地に残っており現地自治体からの対応が可能のため、同システムへの情報提供を希望せず。1世帯は確認中。

避難者支援パスの発行

6月6日から、町内に避難している方を対象に、その生活を支援する目的で「みずほつつじパス（以下「支援パス」という。）」の発行を開始した。支援パスの提示により、町の公共施設のほか、福祉バスやフレッシュランドを無料で利用できる。

このほか、武蔵村山市との提携により、武蔵村山市の公共施設や市内循環バス、村山温泉かたくりの湯を無料で利用することができる。また、武蔵村山市内の避難者に発行される「武蔵村山ふれあいパス」を持っている方も、瑞穂町で支援パスと同様のサービスが受けられる（家庭ごみの有料収集袋の配布、粗大ごみ等の処理手数料の免除を除く。フレッシュランドは半額での利用）。

避難者10世帯25名のうち9世帯23名に支援パスを直接配布済み。

3 義援金

方法	金額
義援金箱（町内公共施設7か所）	2,517,869
義援金専用口座への入金	3,046,129
町への直接寄付	1,510,000
モーガンヒル市からの義援金	560,394
36町内会・自治会から社会福祉協議会へ	3,715,350
合計	11,349,742

（6月8日現在）

4 支援物資

5月9日、モーガンヒル市から支援物資が到着している。

支援物資については、現時点において国、都、被災地ともに充足している状態であることを確認している。町民等からの救援物資については、引き続き被災地からの需要に応じて提供するよう、受け付けた提供物資を町でリスト化している。

5 職員派遣状況

町村会による職員派遣

日程	支援先	内容	人員
5月26日 ～31日	岩手県大槌町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民基本台帳関係等の窓口業務支援 ・ 在宅避難データベース作成 ・ 駐車場等の整理誘導 ・ その他 	町職員4名
6月3日 ～8日			

派遣の実績（6月8日現在） 延べ人数 18人 延べ日数 45日

6 その他

職員互助会による「支援ボランティア活動研修旅行」を実施予定

第1班 6月23日～6月25日

第2班 6月30日～7月2日

支援先 宮城県（受け入れ先と調整中）

活動内容は、泥のかき出しや家屋の清掃など（予定）